心のサポーター養成事業

- 世界精神保健調査では、我が国の精神障害へ罹患する生涯有病率が22.9%であり、精神疾患は誰でも罹患しうることが報告されている。
- 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会」においても、地域住民への普及啓発を進めるにあたり、メンタルヘルス・ファーストエイドへの賛同が既に得られている。※メンタルヘルス・ファーストエイドとは、地域の中で、メンタルヘルスの問題をかかえる人に対し、住民による支援や専門家への相談につなげる取り組み。
- 今般、新型コロナウイルス感染症に係る心のケアの充実が求められている中、平時からの心の健康への対策や普及啓発は急務である。

MHFAの実践体制 心のサポーター養成の仕組み ※メンタルヘルス・ファースト エイド(MHFA)の実践体制 ※心のサポーターの養成体制 インストラクター 81名 ◆インストラクター ◎心のサポーター指導者 2日間の指導者研修を受講 人数は令和元年3月末時点 (研修のコツと実際・模擬研修・ 心のサポーター指導者 ・MHFAのインストラクター エイダー 592名 評価とフィードバック) 及びエイダーであること ・2時間の指導者研修を受講 ◆エイダー 2日間のMHFA実施者研修を受講 ◎心のサポーター (MHFAの基本理念・うつ病・ 2時間の実施者研修を受講 不安障害・精神病・依存症等へ 心のサポーター の対応) 心のサポーターとは (人)40※MHFA普及率の国際比較 28 (人口千人当たりの受講者数) 「メンタルヘルスやうつ病や不安など精神疾患への正しい知識と理解を持ち、メンタルヘルスの問題を 20 抱える家族や同僚等に対する、傾聴を中心とした支援者」(小学生からお年寄りまでが対象) 5.9 ⇒ MHFAの考え方に基づいた、2時間程度で実施可能な双方向的研修プログラムを使用(座学+実習) 0.005 米国 日本 豪州 加国 英国

今後の方向性 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R10年度 R15年度 (千人) 養成研修プログラム作成 8自治体 1000 養成研修(モデル地域) 945人 R6年度から 養成研修 (全国) 10年で100万人 500 47人 指導者養成マニュアル作成 指導者養成研修 R6年度から 5年で38万人 厚生労働省 むとくらし、みらいのために

「夢生労働省 がinistry of Health, Labour and Welfare